

科目名	運 動 学【理学】					開 講 キャンパス	神 埼
担 当 者	大田尾 浩						
開 講 年 次	1	開講期	後期	単位数	2	必修・選択	必 修 (理学)
授業の概要 及びねらい	本講義では、解剖学・生理学で得た知識をもとに、運動のなかで主として骨・関節・筋・神経系がどのように関与しているかを学び、障害学の基礎である正常状態を理解することを目標とする。						
授 業 の 到 達 目 標	1) 身体の構造と機能について運動器の観点から理解する 2) 身体運動に関する原理を骨や関節構造から理解できる 3) 身体運動に関する原理・理論を重力との関係から理解できる 4) 上肢・下肢・体幹の関節運動学を適切な用語を用いて説明ができる						
学 習 方 法	講義、グループワーク						
テキスト及 び参考書等	中村隆一、斎藤宏、長崎浩 著『基礎運動学』医歯薬出版 弓岡光徳、溝田勝彦、村田伸監訳『エッセンシャル・キネシオロジー』南江堂						
評 価 基 準 ・ 方 法	到 達 目 標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験	◎					70	
小テスト等							
宿題・授業外レポート			○			30	
授業態度							
受講者の発表							
授業への参加度							
その他							
合 計							100
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画 (学習内容・キーワードとスケジュール)							
第 1 週	生体力学の基礎						
第 2 週	運動法則とてこ						
第 3 週	骨格筋と骨の構造と機能						
第 4 週	上肢帯・上肢の運動 (肩関節)						
第 5 週	上肢帯・上肢の運動 (肘関節)						
第 6 週	上肢帯・上肢の運動 (手関節と手指)						
第 7 週	下肢帯・下肢の運動 (股関節)						
第 8 週	下肢帯・下肢の運動 (膝関節)						
第 9 週	下肢帯・下肢の運動 (足関節)						
第 10 週	脊柱・体幹の運動						
第 11 週	体幹と呼吸運動						
第 12 週	顔面・頭部の運動						
第 13 週	姿勢						
第 14 週	歩行						
第 15 週	歩行						
第 16 週	まとめ						
備 考	1. 出席時間数が開講時間数の3分の2に満たない者は、定期試験の受験を認めない(単位を認定しない)。 2. 毎回、講義終了時に課題を提示する。次回の講義開始時に確認を行う。						